

JR北海道・四国・九州・貨物の平成27年度決算

単体決算

(単位:億円)

	北海道		四 国		九 州		貨 物	
	平成27年度	対前年度増減	平成27年度	対前年度増減	平成27年度	対前年度増減	平成27年度	対前年度増減
営業収益	838	12	286	10	2,111	109	1,555	36
うち鉄道事業	768	11	269	9	1,691	58	1,363	24
うち鉄道運輸収入	685	16	233	8	1,501	50	1,183	42
営業費用	1,285	69	391	3	2,056	73	1,470	3
うち鉄道事業	1,251	79	378	3	1,807	33	1,397	6
営業損益	▲ 447	▲ 57	▲ 105	7	54	35	85	33
うち鉄道事業	▲ 482	▲ 68	▲ 109	6	▲ 115	25	▲ 33	17
営業外利益	424	▲ 9	111	▲ 85	128	▲ 16	▲ 25	▲ 5
うち基金運用益	349	▲ 14	72	▲ 74	111	▲ 14	-	-
うち特別債券受取利息	55	0	35	0	-	-	-	-
経常損益	▲ 22	▲ 66	6	▲ 77	182	19	59	27
特別損益	70	38	31	16	▲ 4,819	▲ 4,829	25	▲ 86
当期純利益	55	▲ 25	25	▲ 68	▲ 4,444	▲ 4,539	50	▲ 29

輸送量

(単位:百万人、百万人キロ、万トン、百万トンキロ)

	北海道			四 国			九 州			貨 物		
	定期	定期外	合計	定期	定期外	合計	定期	定期外	合計	コンテナ	車扱	合計
輸送人員/トン	78	57	134	28	17	46	212	118	330	2,211	866	3,077
うち新幹線	0	0.1	0.1	-	-	-	2.5	11	13	-	-	-
対前年度比	101.3%	103.3%	102.2%	101.7%	105.1%	103.0%	102.8%	104.6%	103.5%	102.7%	98.8%	101.5%
うち新幹線	0	0	0	-	-	-	103.8%	104.3%	104.2%	-	-	-
輸送人キロ/トンキロ	1,463	2,857	4,320	612	836	1,449	4,221	5,156	9,378	19,953	1,289	21,242
うち新幹線	0	14	14	-	-	-	194	1,735	1,929	-	-	-
対前年度比	101.0%	103.0%	102.3%	101.9%	105.8%	104.1%	102.1%	103.1%	102.6%	102.6%	98.9%	102.3%
うち新幹線	0	0	0	-	-	-	103.1%	103.6%	103.6%	-	-	-

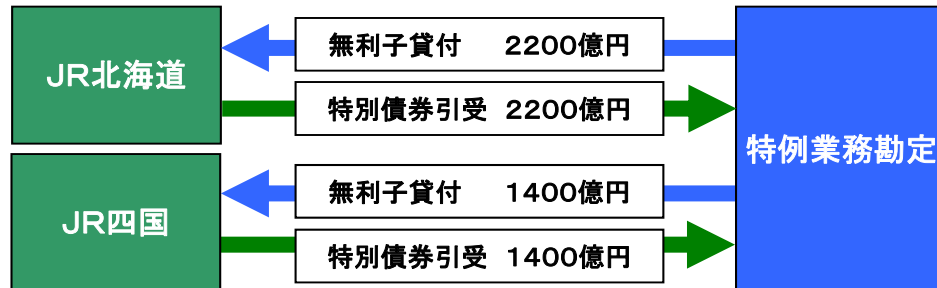
JR三島・貨物会社等に対する支援について

日本国有鉄道清算事業団の債務等の処理に関する法律に基づき、鉄道・運輸機構の特例業務勘定の利益剰余金等を活用して鉄道関係施策を推進するため、①JR北海道及びJR四国の経営の安定化、②JR三島・貨物の設備投資等への支援、③整備新幹線の着実な整備、④並行在来線への支援に関する所要の措置を講じる。

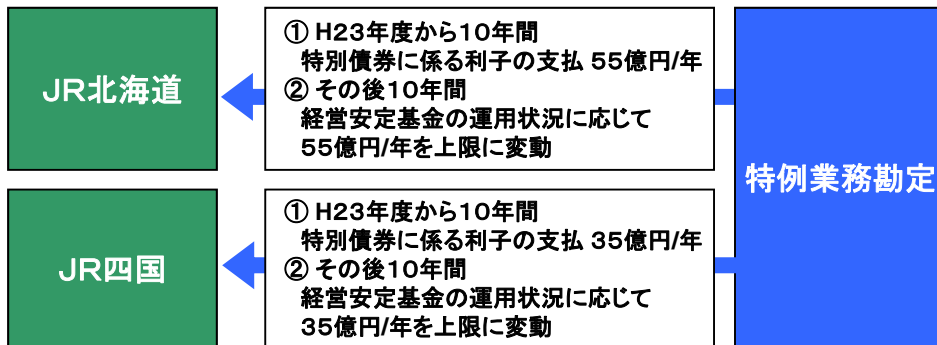
①JR北海道及びJR四国の経営の安定化（法附則第4条）

20年間にわたり、経営安定基金の積み増しと同等の効果を有する安定的な運用益を確保するため、JR北海道及び四国は、特例業務勘定から無利子貸付を受けて、特例業務勘定が発行する経営安定化特別債券(20年物)を購入し、運用。

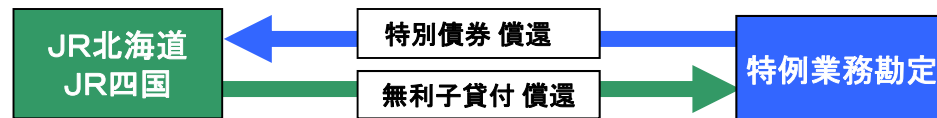
1. 無利子貸付及び特別債券発行(平成23年度)



2. 特別債券に係る利子の支払(平成23年度より20年間)

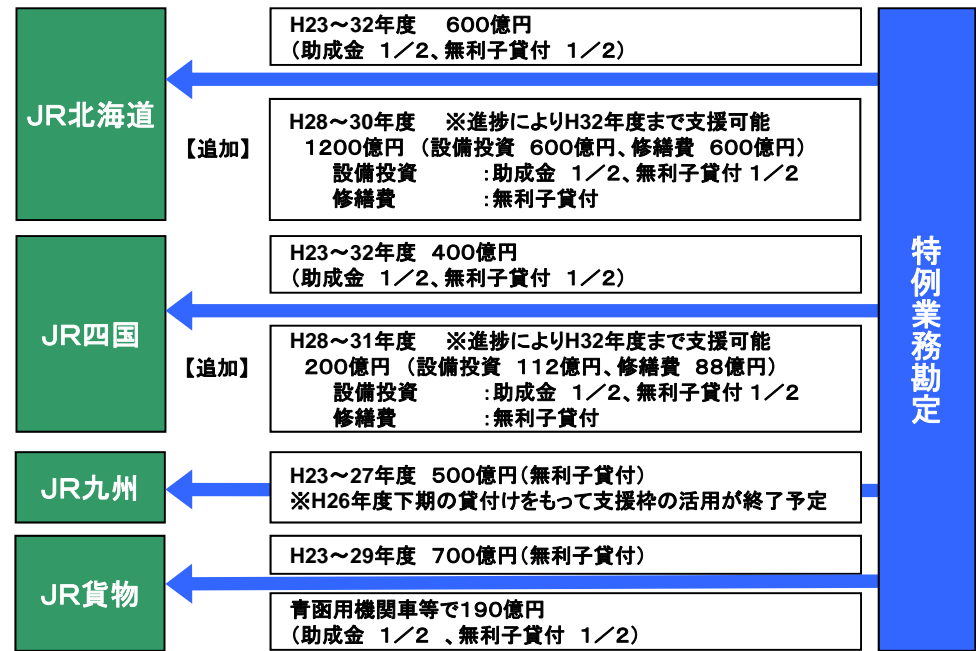


3. 無利子資金及び特別債券の償還(平成43年度)



②JR三島・貨物の設備投資等への支援（法附則第5条）

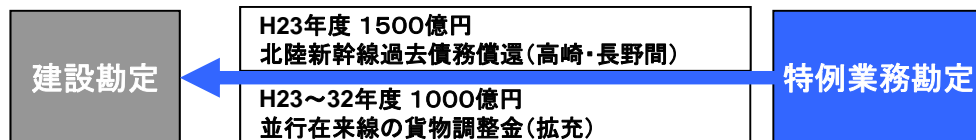
平成22年の三大臣合意に基づき、JR三島・貨物に対して、これらの会社の設備投資に要する費用に充てるため、助成金の交付及び無利子貸付を実施することに加えて、平成27年6月の国土交通省鉄道局長通達に基づき、JR北海道及びJR四国に対して、追加的支援措置を実施。



③整備新幹線の着実な整備・④並行在来線への支援（法附則第6条）

従来、開業済みの整備新幹線の貸付料収入から支出していた以下の費用を、特例業務勘定から建設勘定に繰り入れる。

- ・ 北陸新幹線(高崎・長野間)の債務償還に要する費用
- ・ 並行在来線の貨物調整金(拡充)に要する費用



JR三島・貨物会社の設備投資に対する支援(無利子貸付又は助成金交付)

- JR三島・貨物会社は、国鉄時代に導入し老朽化したままの鉄道施設等を多数抱えているが、経営基盤が脆弱であることから、その更新が進まない状況にある。
- そのため、これらの会社に対して、老朽化した鉄道施設等の更新その他会社の経営基盤の強化に必要な鉄道施設等の整備に要する資金に充てるため、無利子貸付又は助成金交付を実施することにより、会社の経営基盤を強化するとともに経営の安定化を図る。

※根拠法令：日本国有鉄道清算事業団の債務等の処理に関する法律附則第5条

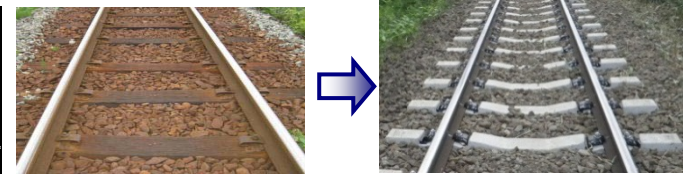
■JR各社支援実績

(億円)

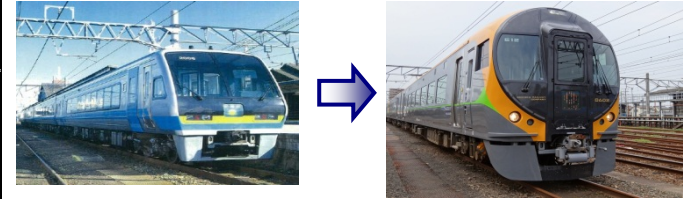
		H23下期	H24上期	H24下期	H25上期	H25下期	H26上期	H26下期	H27上期	H27下期	合計	
JR北海道	無利子貸付	9.71	15.43	8.42	5.94	39.72	20.40	39.20	38.61	33.51	210.94	
	助成金	9.71	15.43	8.42	5.94	39.72	20.40	39.20	38.61	33.51	210.94	
	合計	19.42	30.86	16.85	11.88	79.44	40.79	78.40	77.22	67.02	421.88	
JR四国	無利子貸付	0.87	1.57	4.03	1.73	20.06	2.95	13.43	5.19	25.74	75.58	
	助成金	0.87	1.57	4.03	1.73	20.06	2.95	13.43	5.19	25.74	75.58	
	合計	1.74	3.14	8.06	3.46	40.12	5.91	26.87	10.38	51.49	151.17	
JR九州	無利子貸付	50.00	30.20	111.00	6.30	114.50	14.50	172.88	-	-	499.38	
	合計	50.00	30.20	111.00	6.30	114.50	14.50	172.88	-	-	499.38	
JR貨物	通常	無利子貸付	24.39	48.73	54.04	73.22	48.24	41.20	40.18	51.40	61.30	442.69
		合計	24.39	48.73	54.04	73.22	48.24	41.20	40.18	51.40	61.30	442.69
	青函	無利子貸付	-	-	4.50	0.20	2.06	10.88	13.62	11.57	15.33	58.15
		助成金	-	-	4.50	0.20	2.06	10.88	13.62	11.57	15.33	58.15
		合計	-	-	9.00	0.40	4.11	21.75	27.25	23.13	30.65	116.31
	無利子貸付 合計	84.97	95.93	182.00	87.39	224.57	89.93	279.32	106.77	135.88	1286.75	
助成金 合計	10.58	17.00	16.96	7.87	61.84	34.23	66.26	55.37	74.58	344.68		
総合 合計	95.55	112.93	198.95	95.26	286.41	124.16	345.58	162.14	210.46	1631.43		

■支援対象施設の事例

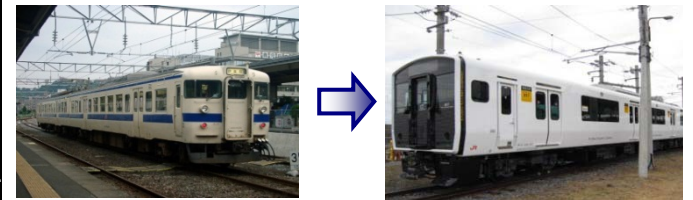
【JR北海道 PCマクラギ化】



【JR四国 特急電車の老朽更新】



【JR九州 鉄道車両の老朽更新】



【JR貨物 電気機関車の老朽更新】

